



2025年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2025年2月5日

上場会社名 株式会社ロジネットジャパン

上場取引所 札

コード番号 9027 URL <https://www.loginet-japan.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 橋本 潤美

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 経営企画管理本部 副本部長 (氏名) 久保田 優

TEL 011-251-7755

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	59,451	5.2	3,086	8.7	3,001	7.1	1,982	14.2
2024年3月期第3四半期	56,500	2.2	2,839	13.3	2,801	14.5	1,736	20.7

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 1,931百万円 (5.9%) 2024年3月期第3四半期 2,051百万円 (9.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	367.84	
2024年3月期第3四半期	301.81	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	36,742	20,662	56.1
2024年3月期	35,041	19,814	55.8

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 20,624百万円 2024年3月期 19,569百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		60.00		60.00	120.00
2025年3月期		60.00			
2025年3月期(予想)				60.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	80,000	8.0	3,820	20.9	3,800	19.8	2,390	23.0	437.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - 以外の会計方針の変更 : 無
 - 会計上の見積りの変更 : 無
 - 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期3Q	5,740,000 株	2024年3月期	5,740,000 株
期末自己株式数	2025年3月期3Q	397,479 株	2024年3月期	277,805 株
期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期3Q	5,389,069 株	2024年3月期3Q	5,753,695 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料はT D netで同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における経営環境は、雇用や所得環境の改善などを背景に個人消費や設備投資が増加傾向を示すなど、緩やかな回復基調にある一方で、燃料価格の高止まりや、物価上昇による輸送資材の仕入れ単価の高騰を中心にコスト負担が引き続き増加するなど、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループでは、全国での貨物取扱拡大を目的として、「L N Jプレミアムネットワーク（仮称）」の展開を進めることといたしました。これは、全国に展開する配送拠点を整備拡大し、トラック輸送のみならず、鉄道輸送やフェリー輸送、航空輸送などの様々な手法を活用し、ワンストップで全国の輸送を受注できる取組で、更なる事業領域の拡大を強力に推進するものです。さらに、2023年4月より販売を開始した「DDロジ」（特許出願中）の展開をはじめ、「さくらボックス」（特許取得）による単身向け引越サービスなどを提供する引越事業の拡販やEC事業の拡大、国際物流への本格的参入などをあわせて実施することで、営業収益の拡大を進めてまいりました。

利益面では、適正料金への改定に加え、業務のIT化、及び車両適正配置など輸送体制の見直しによる生産性の向上に取り組むことにより、収益性の改善を実現してまいりました。

また、ドライバーの労働時間規制による輸送能力不足が問題視されている物流の「2024年問題」をはじめ、物流業界が抱える課題に対しては、新輸送商品であります「DDロジ」による物流改革の提案及びDDパレットを使用した農産品、海外輸送の取り扱いを拡大するとともに、「L N Jプレミアムネットワーク（仮称）」による長距離輸送をはじめとした輸送能力の維持強化など、魅力ある輸送サービスの提供によって応えてまいります。あわせて、輸送能力確保のためのコスト増加に必要な適正料金への改定を推進しております。

これらの営業面における取り組みに加え、当社グループでは、社員が能力を十分に発揮できるよう職場環境、社内制度の整備に力を入れてまいりました。2023年度には、様々な物価が高騰する昨今の情勢や、2024年問題への対応、および事業拡大を見据えた人財投資として、優秀な人財確保のための大卒初任給引き上げ（約15%増）や、ドライバーについては最大15%程度の給与引き上げを行うなど、採用強化のための大幅な処遇改善を行いました。これにより、現在必要なドライバーは確保できていると判断しております。なお、今年度についても、昨年度に引き続き、前期と同等レベルの人財投資を計画し処遇改善を行っております。さらなる事業拡大に向け、多様な人財を確保する体制の構築を図ってまいります。

当第3四半期連結累計期間の連結業績は、以下のとおりです。

	前第3四半期 (累計)	当第3四半期 (累計)	増減	増減率 (%)
営業収益（百万円）	56,500	59,451	2,951	5.2
営業利益（百万円）	2,839	3,086	247	8.7
経常利益（百万円）	2,801	3,001	199	7.1
親会社株主に帰属する四半期純利益 (百万円)	1,736	1,982	245	14.2

当第3四半期連結会計期間の営業収益は、大手取引先の取り扱い数量の増加や料金改定などにより、前年同期比29億51百万円増（+5.2%）の594億51百万円となりました。利益面については、昨年度に引き続き今年度も行っているグループ従業員の処遇改善による人件費の増加影響があるものの、上記の増収効果により営業利益は前年同期比2億47百万円増（+8.7%）の30億86百万円、経常利益は前年同期比1億99百万円増（+7.1%）の30億1百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比2億45百万円増（+14.2%）の19億82百万円となりました。

地域別セグメントの業績は、以下のとおりです。

<北海道地区>

	前第3四半期 (累計)	当第3四半期 (累計)	増減	増減率 (%)
営業収益 (百万円)	16,169	17,307	1,138	7.0
セグメント利益 (百万円)	603	833	229	38.0

<東日本地区>

	前第3四半期 (累計)	当第3四半期 (累計)	増減	増減率 (%)
営業収益 (百万円)	25,299	25,081	△217	△0.9
セグメント利益 (百万円)	1,374	1,316	△58	△4.3

<西日本地区>

	前第3四半期 (累計)	当第3四半期 (累計)	増減	増減率 (%)
営業収益 (百万円)	12,495	14,136	1,641	13.1
セグメント利益 (百万円)	557	579	22	4.1

料金改定による影響を各地域セグメントに適正に反映させるため、2024年度より、セグメント間の取引単価の改定を行っており、当中間連結会計期間における各地域セグメント利益にはその影響額が含まれております。この改定による各地域セグメントのセグメント利益影響は、北海道地区は前年同期比1億1百万円の増加、東日本地区は64百万円の減少、西日本地区は37百万円の減少です。

(2) 当四半期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末から17億1百万円増加し、367億42百万円となりました。この主な要因は、大手取引先の取り扱い数量の増加に伴い車両投資を進めたことによるものです。

また、負債は、上記車両投資のための借入金増加などにより、前連結会計年度末から8億53百万円増加し、160億79百万円となりました。これらの結果、純資産は206億62百万円となり、純資産から非支配株主持分を控除した後の自己資本比率は、前連結会計年度末から0.3ポイント上昇し、56.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年5月9日発表値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	273	1,062
受取手形	182	170
電子記録債権	608	654
営業未収入金及び売掛金	9,164	8,877
棚卸資産	166	158
その他	1,217	1,551
貸倒引当金	△2	△1
流動資産合計	11,610	12,473
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,886	2,850
機械装置及び運搬具（純額）	8,028	8,895
土地	7,087	7,087
リース資産（純額）	77	69
その他（純額）	491	469
有形固定資産合計	18,569	19,371
無形固定資産		
投資その他の資産	479	548
投資有価証券	2,162	2,061
繰延税金資産	358	313
差入保証金	1,409	1,518
その他	538	543
貸倒引当金	△87	△87
投資その他の資産合計	4,381	4,349
固定資産合計	23,430	24,268
資産合計	35,041	36,742

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
電子記録債務	132	—
営業未払金及び買掛金	5,071	5,222
短期借入金	3,515	4,340
リース債務	33	25
未払法人税等	517	632
役員賞与引当金	95	—
その他	2,550	2,769
流動負債合計	11,916	12,990
固定負債		
長期借入金	2,164	1,996
リース債務	51	50
繰延税金負債	276	182
役員退職慰労引当金	342	367
退職給付に係る負債	307	323
資産除去債務	11	11
その他	156	156
固定負債合計	3,310	3,089
負債合計	15,226	16,079
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	592	686
利益剰余金	17,919	19,253
自己株式	△406	△766
株主資本合計	19,105	20,172
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	464	451
その他の包括利益累計額合計	464	451
非支配株主持分	245	38
純資産合計	19,814	20,662
負債純資産合計	35,041	36,742

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
営業収益	56,500	59,451
営業原価	51,157	53,659
営業総利益	5,343	5,792
販売費及び一般管理費	2,503	2,705
営業利益	2,839	3,086
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	49	64
寮収入	45	34
その他	63	74
営業外収益合計	158	173
営業外費用		
支払利息	27	37
寮支出	106	134
車両除売却損	45	71
その他	16	15
営業外費用合計	196	259
経常利益	2,801	3,001
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	0	95
特別利益合計	0	95
特別損失		
固定資産除売却損	100	29
特別損失合計	100	29
税金等調整前四半期純利益	2,701	3,066
法人税、住民税及び事業税	960	1,166
法人税等調整額	11	△43
法人税等合計	972	1,122
四半期純利益	1,729	1,944
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△7	△38
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,736	1,982

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	1,729	1,944
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	322	△12
その他の包括利益合計	322	△12
四半期包括利益	2,051	1,931
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,058	1,969
非支配株主に係る四半期包括利益	△7	△38

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	北海道	東日本	西日本	計		
営業収益						
顧客との契約から生じる収益	16,169	25,299	12,495	53,964	2,524	56,489
その他の収益	—	—	—	—	11	11
外部顧客への営業収益	16,169	25,299	12,495	53,964	2,535	56,500
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	3,860	545	371	4,777	3,006	7,783
計	20,030	25,845	12,866	58,742	5,542	64,284
セグメント利益	603	1,374	557	2,535	1,153	3,689

(注) 「その他」は、持株会社である当社及び株式会社ロジネットジャパン九州の営業収益及びセグメント利益であります。営業収益は本社ビルの賃貸収入、飲料水の販売収入、グループ会社からの受取配当金、経営指導料及び九州地区における営業収益であり、受取配当金がセグメント利益に与える影響額は871百万円であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,535
「その他」の区分の利益	1,153
受取配当金の消去	△871
その他の調整額	22
四半期連結損益計算書の営業利益	2,839

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	北海道	東日本	西日本	計		
営業収益						
顧客との契約から生じる収益	17,307	25,081	14,136	56,526	2,917	59,443
その他の収益	—	—	—	—	8	8
外部顧客への営業収益	17,307	25,081	14,136	56,526	2,925	59,451
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	4,645	570	361	5,576	5,113	10,690
計	21,952	25,652	14,497	62,103	8,038	70,141
セグメント利益	833	1,316	579	2,729	3,019	5,749

(注) 「その他」は、持株会社である当社及び株式会社ロジネットジャパン九州の営業収益及びセグメント利益であります。営業収益は本社ビルの賃貸収入、飲料水の販売収入、グループ会社からの受取配当金、経営指導料及び九州地区における営業収益であり、受取配当金がセグメント利益に与える影響額は2,693百万円であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,729
「その他」の区分の利益	3,019
受取配当金の消去	△2,693
その他の調整額	30
四半期連結損益計算書の営業利益	3,086

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	1,423百万円	1,395百万円